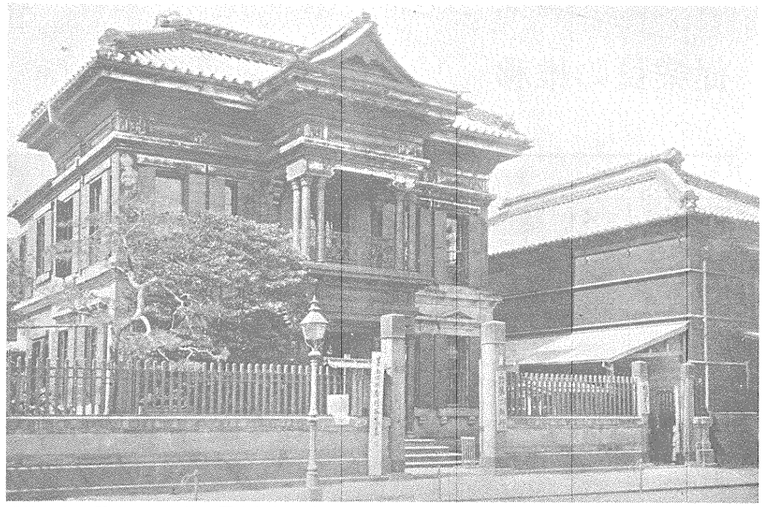
写真でつづる60年

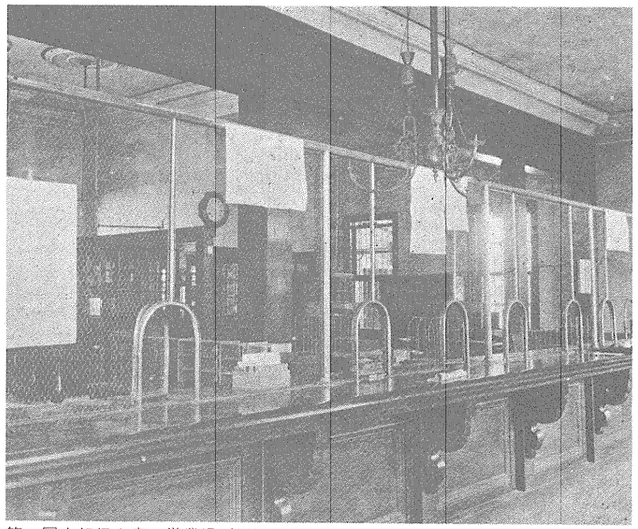
当行の設立まで

明治初年に相次いで設立された国立銀行は153行に及んだが、横浜の第二・七十四両国立銀行は、商業資本を主体とした点に大きな特徴があった。そしてこの両行は、わが国開国の窓口となった港都横浜の商業の発展を象徴して明治～大正にわたって大きな成長を遂げた。しかし大正9年の恐慌によって七十四銀行は横浜貯蓄銀行とともに破綻に追込まれ、新たに設立された当行にその整理を委ねた。また第二銀行も昭和3年、当行との合同に至った。

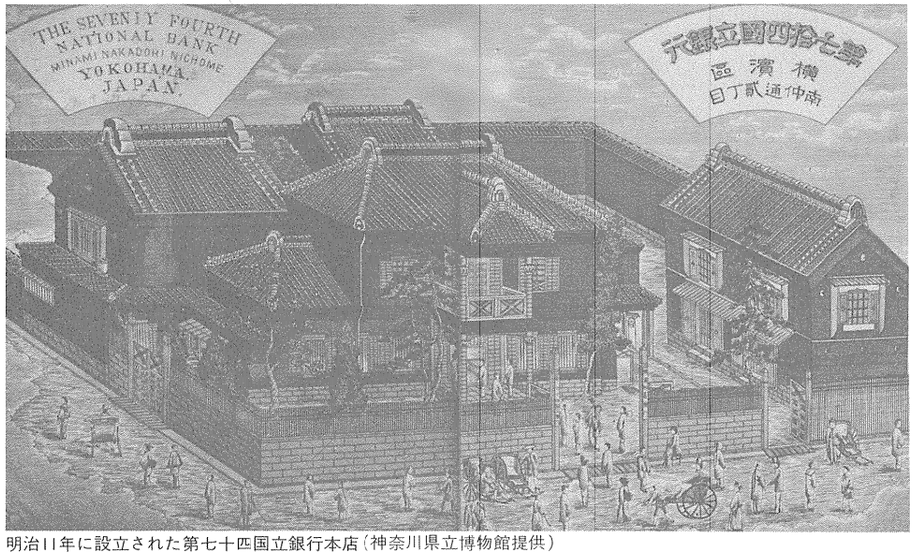


明治7年に設立された第二国立銀行本店　旧横浜為替会社の建物（横浜商工会議所提供）

第二国立銀行発行の1円札

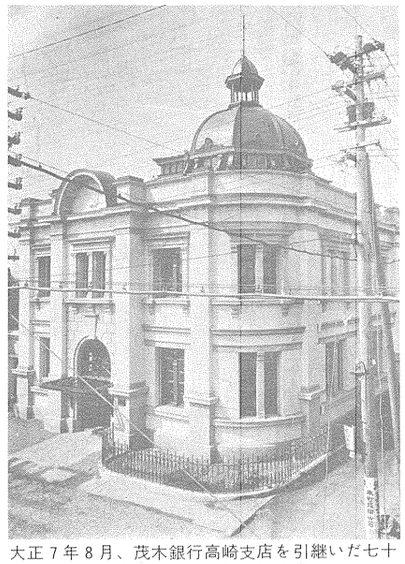


第二国立銀行本店の営業場（横浜商工会議所提供）

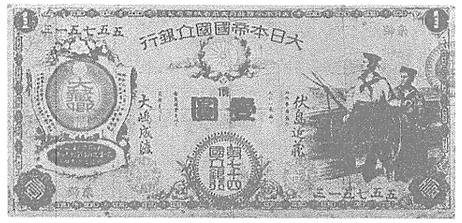


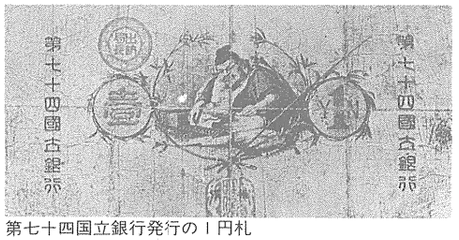
明治11年に設立された第七十四国立銀行本店（神奈川県立博物館提供）

横浜七十四銀行の営業広告



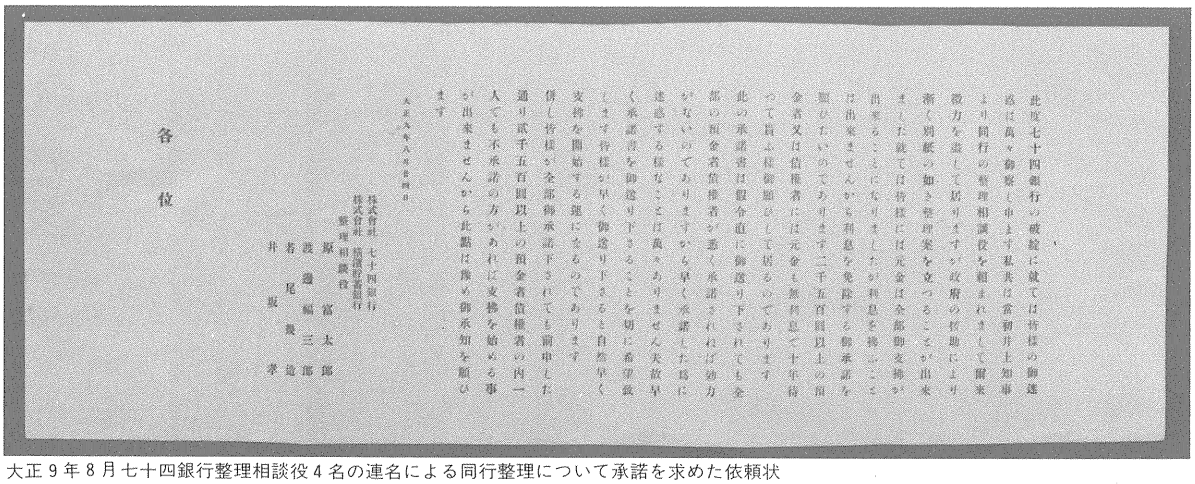
大正7年8月、茂木銀行高崎支店を引継いだ七十四銀行高崎支店（のちの当行高崎支店）





第七十四国立銀行発行の1円札

明治時代後期の横浜市中心部―― 現県庁方面から現関内駅方向を望む（左端に横浜公園 右端に七十四銀行・横浜貯蓄銀行がみえる）



各位

此度七十四銀行の破綻に就ては特様の御迷惑は萬々御察し申上げ私共は當月十日事より同行の整理相談役を組まれまして爾來微力を盡して居りますが政府の援助により漸く別紙の如き整理案を立つることが出來ましたに就ては特様には元金は全部御支拂が出來ることになりましたが利息を拂ふことは出來ませんから利息を免除する御承諾を願ひたいのであります二千五百圓以上の預金者又は借權者には元金も無利息で十年待つて貰ふ様御願ひして居るのであります

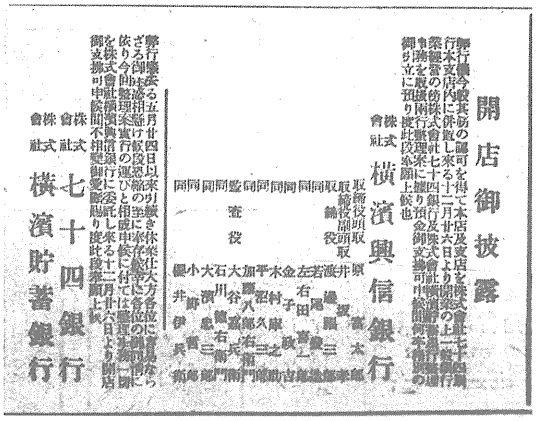
此の承諾書は假令直に御認り下されても全部の預金者債權者が悉く承諾されれば効力がないのでありますから早く承諾した為に迷惑する様なことは萬々ありません矢張早く承諾書を御認り下さることを切に希望致します特様が早く御認り下さると自然早く支拂を開始する運に至るものであります

併し特様が全部御承諾下されても前申した通り貳千五百圓以上の預金者債權者の内一人でも不承諾の方があれば支拂を始める事が出來ませんから此點は誤り御承知を願ひます

大正九年八月十四日

株式會社七十四銀行
株式會社整理貯蓄銀行
整理相談役　原富太郎
渡邊編三郎
若尾幾造
井坂孝

大正９年８月七十四銀行整理相談役４名の連名による同行整理について承諾を求めた依頼状



開店御披露

株式會社七十四銀行
株式會社横濱貯蓄銀行

当行の開業広告(大正９･12･27付横浜貿易新報)

開業当時の営業案内

大正九年十二月二十七日　横濱貿易新報　(第三種郵便物認可)

閉散に暮れた拂戻第一日

返り咲の七四銀行に預金者すっかり安心

▽横濱貯蓄もチラホラ

▽お蔭様

▽場所丈

▽伊勢佐木町支店

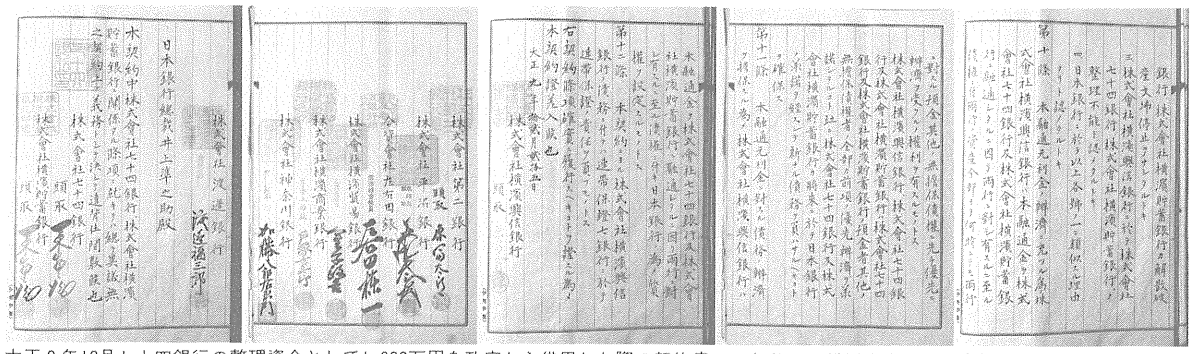
▽長者町支店

▽神奈川

▽長椅子

▽川崎支店は朝の中だけ開扉を待

当行の開業により七十四銀行の預金払戻が始まったことを報ずる新聞



日本銀行総裁井上準之助殿

日本銀行

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

大正九年十二月

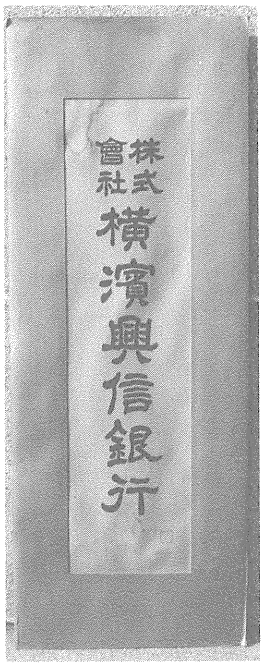
大正九年十二月

大正九年十二月

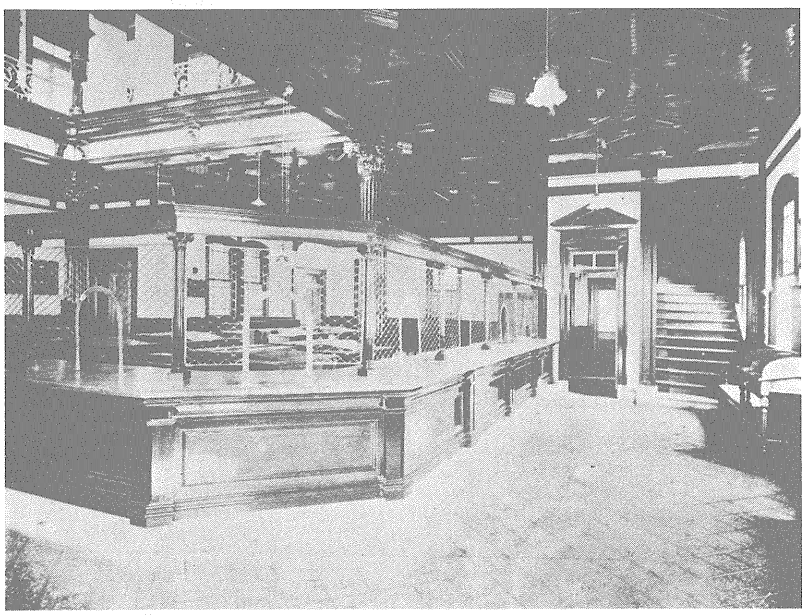
大正九年十二月

大正９年12月七十四銀行の整理資金として1,600万円を政府から借用した際の契約書この契約には横浜市内の各本店銀行が保証を行なった

開業時の当行本店　七十四銀行本店を引継いだもの



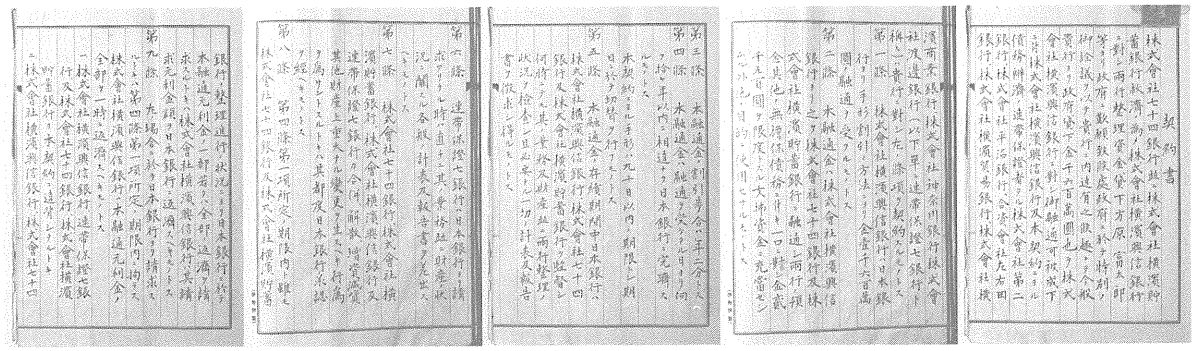
行名書体



開店当時の本店営業場

横浜興信銀行の設立

七十四銀行と横浜貯蓄銀行の破綻の影響から横浜市民を救うという目的で、大正９年横浜興信銀行が設立された。七十四銀行の整理という重荷を負ったスタートであっただけに、その衝にあたった人たちにとっては５万５千人に及ぶ預金者・債権者から承諾書をとりつけ、ようやく設立に漕ぎつけたという安堵と今後の整理遂行の責務の重さに胸せまる思いであったと思われる。



契約書

株式會社七十四銀行並株式會社横濱貯蓄銀行整理ノ株式會社横濱興信銀行ニ對シ兩行整理委員千方原富太郎等ヨリ政府ニ數回陳情致度旨政府ニ於テ特別ノ御配慮アツテ貴行ニ内達有之徹越ヲ今般貴行ト政府間ニ金千五百萬圓也ヲ株式會社横濱興信銀行ニ對シ無利息無條件ニテ政府ヨリ貸下ノ内達ヲ受ケタルニ付テハ株式會社横濱興信銀行ニ於テハ本契約ニ基キ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス

第一條　株式會社横濱興信銀行ハ七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルモノトス

第二條　株式會社横濱興信銀行ハ七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルニ當リ其ノ債權者ニ對シ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス

第三條　株式會社横濱興信銀行ハ七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルニ當リ其ノ債權者ニ對シ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス

第四條　株式會社横濱興信銀行ハ七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルニ當リ其ノ債權者ニ對シ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス

第五條　株式會社横濱興信銀行ハ七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルニ當リ其ノ債權者ニ對シ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス

第六條　株式會社横濱興信銀行ハ七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルニ當リ其ノ債權者ニ對シ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス

第七條　株式會社横濱興信銀行ハ七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルニ當リ其ノ債權者ニ對シ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス

第八條　第四條第一項所定期限内ニ株式會社七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルニ當リ其ノ債權者ニ對シ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス

第九條　株式會社横濱興信銀行ハ七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルニ當リ其ノ債權者ニ對シ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス

第十條　株式會社横濱興信銀行ハ七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルニ當リ其ノ債權者ニ對シ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス

株式會社横濱興信銀行ハ七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルニ當リ其ノ債權者ニ對シ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス

株式會社横濱興信銀行ハ七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルニ當リ其ノ債權者ニ對シ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス

株式會社横濱興信銀行ハ七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルニ當リ其ノ債權者ニ對シ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス

株式會社横濱興信銀行ハ七十四銀行及株式會社横濱貯蓄銀行ノ解散ニ伴ヒ其債權債務ヲ承繼シ兩行ノ整理ヲ遂行スルニ當リ其ノ債權者ニ對シ債務辨濟ノ責任ヲ負ハサルモノトス